

# 施策評価(平成29年度)

## 1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策	32	上水道
基本方針		
安全でおいしい水を安定供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努めます。		

## 2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
<a href="#">水道管路の耐震化</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">羽村駅西口土地区画整理事業地区の配水管網の整備</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">はむらの水PR事業の充実</a>	次年度以降計画を見直す	A	A	B	現状のまま継続

## 3 施策評価結果

<p>施策32「上水道」では、3事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「水道管の耐震化」など2事業は、「計画どおり完了」としているが、「はむらの水PR事業の充実」では、水の保全に関する宣言の制定に至らなかったため、「次年度以降計画を見直す」としている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>有効性(成果)については、「はむらの水PR事業の充実」で、引き続き検討を要することから、B(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価している。</p> <p>これらを踏まえた結果、施策32「上水道」については、有効性(成果)で一部に改善が必要な課題が生じているが、施策全体としては、概ね順調に推移しており、今後の方向性については、すべての事業で引き続き「現状のまま継続」していくこととする。</p>
--

1.基本項目

事業名		作成部署		部			上下水道設備課	
00 水道管路の耐震化		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト		
		不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営		
01			年					
02			年					
03			年					
04			年					
05			年					
関連課								
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	32	上水道	重点事業No.	1	

2.事業の概要

施策の基本方針	安全でおいしい水を安定供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努めます。
事業内容	水道管路の耐震化を推進するため、「管路耐震化更新計画」を策定するとともに、避難所などに指定されている公共施設周辺を優先しながら、計画的に管路の更新に取り組みます。
根拠法令	水道法
条例	羽村市給水条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	配水管の耐震化(羽村駅西口土地区画整理地区内を含む) 延長 1,754.8m 新設 0m(都道分減) 管種替え 1,636.3m 移設 118.5m 管路耐震適合率 20.3% 管路耐震化率 0.2%  管路耐震化更新計画の策定	同左 延長 1,831m 新設 698m(都道他) 管種替え 1,133m  同左 20.2% 同左 1.2% (西口管路整備も含む率)  管路耐震化更新計画に基づく施工	同左 延長 1,744m 新設 75m 管種替え 1,669m  同左 20.2% 同左 2.2% 同左  同左	同左 延長 1,909m 新設 270m 管種替え 1,639m  同左 20.2% 同左 3.2% 同左  同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	500 H	1人	H	1人	H	1人	H
主事・主任職	2人	977 H	2人	977 H	2人	977 H	2人	977 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	182,338	216,109	231,841	251,823
人件費(係長職)	2,488			
人件費(主任・主事職)	6,642	6,642	6,642	6,642
総事業費(合計)	191,468	222,751	238,483	258,465
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源	15,684			
一般会計繰入金				
起債	70,000	90,000	120,000	150,000
一般財源(人件費含む)	105,784	132,751	118,483	108,465
財源内訳(合計)	191,468	222,751	238,483	258,465

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

当事業は、平成28年度に策定した「水道管路耐震化計画」に基づき、既存塩化ビニール管を耐震性に優れているダクタイル鋳鉄管に管種替えを行い、計画的に管路の耐震化を図るものである。  
平成29年度は、配水管管種替工事4件 1,140m 新設工事1件 130mを実施した。  
都道29号線(奥多摩街道)改良工事に合わせて計画していた配水管 623mを新設する工事については、東京都による奥多摩街道改良工事が延伸されたため未実施となった。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	216,109	▲ 68,000	148,109	127,651	86.2%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H
主事・主任職	2人	977 H	2人	977 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○配水管管種替 1,133m ○配水管新設 698m ○耐震化適合率 20.2% ○耐震化率 1.2%	○配水管管種替 1,140m ○配水管新設 130m ○耐震化適合率 20.3% ○耐震化率 1.0%

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他( )	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他( )	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

水道管路の耐震化は、今年度より平成28年度策定した水道管路耐震化計画に基づき耐震化を進めた耐震性のある配水管は、21.3%となった。市内に布設してある耐震性の低い硬質塩化ビニール管などを計画的に耐震化を進めて行く必要がある。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

水道管路の耐震化は、重要給水施設管路を中心として実施してきたが、今後は老朽化が原因で本管漏水が発生した路線の管種替も検討していく必要がある。

【今後の取組方針】

配水管の耐震化については、大規模な震災に対応するための重要な課題であり、着実に進める必要がある。今後も「水道管路耐震化計画」に基づいて水道管路の耐震化を計画的に進めて行く。

1.基本項目

事業名		作成部署		部			上下水道設備課			
00 羽村駅西口土地区画整理事業地区の配水管網の整備		開始年度	平成 27 年	実施期間	期間設定3年	事業種別	自治事務(市独自)	運営手法	直営	プロジェクト
01			年							
02			年							
03			年							
04			年							
05			年							
関連課		区画整理総務課、区画整理推進課								
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	32	上水道	重点事業No.	2		

2.事業の概要

施策の基本方針	安全でおいしい水を安定供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努めます。	
事業内容	土地区画整理事業の進捗にあわせ、配水管網の整備を行います。	
根拠法令	水道法	
条例	給水条例	
要綱等		

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	羽村駅西口土地区画整理事業の進捗にあわせた配水管網(耐震管)の整備  区画道路第5号 配水管移設 118.5m 消火栓移設 1基 (羽村大橋周辺)	同左  区画道路第6号 配水管移設 33m (羽村大橋周辺) 区画道路第7号 配水管移設 45m (しらうめ保育園周辺) 区画道路第8号 配水管移設 60m (川崎一丁目エリア)	同左  配水管布設 182m	同左  配水管布設 177m

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	261 H	1 人	303 H	1 人	399 H	1 人	388 H
主事・主任職	1 人	261 H	1 人	303 H	1 人	399 H	1 人	388 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	15,684	13,301	13,302	24,338
人件費(係長職)	1,297	1,508	1,986	1,931
人件費(主任・主事職)	887	1,030	1,357	1,319
総事業費(合計)	17,868	15,839	16,645	27,588
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源	15,684	13,300	13,302	24,338
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	2,184	2,539	3,343	3,250
財源内訳(合計)	17,868	15,839	16,645	27,588

③コスト計算

ア 市民	56,079	人における1人あたりのコストは、	282	円
イ 対象者	4,200	人における1人あたりのコストは、	3,772	円
ウ 成果(物)		の 出来高		の コストは
※ 対象者:				

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了     計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)     遅延     中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

当事業は、羽村駅西口土地区画整理事業に基づき、配水管の移設を実施した。  
平成29年度は、3件の工事を実施、146mの配水管移設工事を実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	13,301	1,183	14,484	14,369	99.2%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	303 H	1人	303 H
主事・主任職	1人	303 H	1人	150 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○配水管の移設工事 138m		○配水管の移設工事 146m

**Check【評価】**

**6.事業の評価**    S…より適切なもの    A…適切なもの    B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他( )	<b>A</b>
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他( )	<b>A</b>
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

羽村駅西口土地区画整理事業に合わせて事業を実施した。今後も区画整理事業に合わせて実施して行く。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続     レベルアップ     縮小     実施主体の見直し     休止・廃止     完了

【改善点】

【今後の取組方針】

羽村駅西口土地区画整理事業の進捗に合わせて実施して行く

1.基本項目

事業名		作成部署		上下水道部		上下水道業務課	
		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 「はむらの水」PR事業の充実		平成	28年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01			年				
02			年				
03			年				
04			年				
05			年				
関連課	産業振興課、環境保全課						
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	32	上水道	重点事業No. 3

2.事業の概要

施策の基本方針	安全でおいしい水を安定供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努めます。
事業内容	独自の水道事業を展開する羽村市を前面に出し、「安くておいしい良質な水」を利用する価値を広く周知することで、市民の羽村市への愛着を育むとともに、市へ進出、移住を検討する企業・住民をターゲットとしたシティプロモーションに取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	リーフレット「水だより」を作成し、水道使用者に向けて全戸配付実施	同左	同左	同左
	市内不動産事業者にリーフレット「水だより」の窓口配付を依頼	同左	同左	同左
	イベント等において水の飲み比べ「きき水」の体験実施	水の飲み比べ「きき水」体験事業は、各イベントにおいて実施していく	同左	同左
	水の保全に関する宣言の制定準備	水の保全に関する宣言の制定	水の保全に関する宣言に基づく事業の推進	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	108	108	108	108
人件費(係長職)	150	150	150	150
人件費(主任・主事職)	102	102	102	102
総事業費(合計)	360	360	360	360
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	360	360	360	360
財源内訳(合計)	360	360	360	360

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	水の保全に関する宣言については、水道事業だけではなく「水」に関する部課による意見集約が必要であることから、はむら輝プロジェクトにおいて意見を集約してとりまとめていく。

②活動実績

各種イベント参加(きき水体験、水はむら販売)、市外イベント参加(全国都市緑化フェア、エコプロ2017)、課内打合せ実施(水道応援団、水はむらの販売先拡大)、水だよりの作成・配布などのPR事業を実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	108	0	108	108	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30 H	1人	30 H
主事・主任職	1人	30 H	1人	30 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○各イベントで「きき水体験」の実施 ○リーフレット「水だより」の作成・配布 ○水の保全に関する宣言の制定	⇒ <ul style="list-style-type: none"> <li>○各イベントで「きき水体験」の実施</li> <li>○リーフレット「水だより」の作成・配布</li> <li>○課内打合せ(PR事業の実施・検討)</li> <li>○ペットボトル水「水はむら」販売先の拡大</li> <li>○水の保全に関する宣言は検討中であり制定に至っていない。</li> </ul>

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他( )	<b>A</b>
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他( )	<b>A</b>
有(成果性) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>B</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

健全な水道事業経営を行うために、安くておいしい良質な「はむらの水」を広く周知し、水道水の需要を高めていく必要がある。平成29年度は、体験型PR事業である「きき水」を市内外で実施し、1500人を超える方に「はむらの水」を体感していただくことができた。  
 また、ペットボトル水「水はむら」の販売を、2店舗で新規に開始し、羽村市のおいしい水を広く知っていたく取組みを行った。(JR青梅線羽村駅売店、JR中央線八王子駅自由通路売店「やまたまや」)  
 水の保全に関する宣言の制定については、現在検討中である。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

リーフレットやチラシの内容の充実や、季節に合わせた内容の広報活動を実施する。

【今後の取組方針】

リーフレット「水だより」の内容を更新して継続する。  
 水道応援団の立ち上げ、継続的な活動の支援を行う。  
 「水はむら」の販売先拡大(市外での販売拠点の開拓、市外の方へのPRの充実)などを行っていく。  
 水の保全に関する宣言の制定については、はむら輝プロジェクト「はむらの水や水辺の活用プロジェクト会議」において、意見を集約し、進めていくこととする。